



『自分にも、友だちにも、金メダルを。そんな2学期に。』 ～校長講話～

いよいよ今日から2学期です。みなさんは夏休みに何にチャレンジしましたか。休み前、先生はみなさんに水を入れたポリ袋に鉛筆を刺す実験を見てもらいました。そして、「袋に鉛筆を刺してもなぜ水がこぼれないかを夏休みに調べます。」と言いましたね。調べてみましたよ。その理由は摩擦熱にありました。ものともものがこすれて生じる熱を摩擦熱と言います。手と手をこすり合わせても温かくなりますね。ポリ袋はポリエチレンというものでできていて、ポリエチレンは熱にとっても弱い性質があります。そのため、鉛筆を刺したとき、鉛筆とポリ袋が摩擦熱を持つので、一瞬にきゅっと縮みます。だから、水がこぼれないように塞がるのです。先生があの実験をした日に教室で先生に早速袋をもらい挑戦した人やお家に帰ってやってみた人、先生のところで実験した人など、自分でやってみたい、試してみたいという人が多くて、とても嬉しかったです。ここまでは先生の夏休みのチャレンジのお話でした。

さて、4年生は夏休み中に人形劇の初舞台にチャレンジしました。開演の前にはみんなで円陣を組んで気持ちを合わせていました。おそろいのTシャツの背中には4年生1人1人の名前が書いてあり、1人1人が大切にされ、みんなと協力をして頑張る姿に感動しました。すてきな演出で、驚く場面がいっぱいありました。2学期には4年生のみなさんが、全校のお友だちに人形劇の発表をしてくれるそうです。全校のみなさん、4年生のチャレンジをお楽しみに。

夏休みにはパリでオリンピックが開かれました。見ましたか。何が興味深かったですか。オリンピックの目的は「スポーツを通して、いろいろな国の人と友情を結び世界平和を願う」にあります。先生は、オリンピックを見ているとどうしても金メダルが気になるし、日本が上位に入るようにテレビの前で応援するし、日本の選手が上位に入ると嬉しくなります。ただ、先生が一番楽しみにしているのは、競技を終えた選手の言葉です。その中で気になった5人について紹介します。1人目はフェンシングの加納虹輝(かのう こうき)選手です。「自分が思い描いた以上の選手になった。努力の仕方が間違っていなかった。」加納選手はこんな選手になりたいと大きな目標を持って、努力を続けてきたのですね。2人目はスケートボードの堀米雄斗(ほりごめ ゆうと)選手です。「常に限界まで練習して追い込んでいる。最後まで自分を信じてやってこれた」こんなに頑張った自分ってすてきだなと自分を信じることですごい力を出せるのだと感じました。3人目は卓球の早田ひな(はやた ひな)選手です。「金メダルをとるよりうれしい銅メダル。皆さんに支えられて、いただいたメダルです。感謝の気持ちだけです。」ありがたいの気持ちが溢れていました。4人目はレスリングの須崎優衣(すざき ゆい)選手、前回東京大会で金メダルを取ったオリンピックチャンピオンです。その選手が、1回戦、初戦で敗れてしまったのです。「オリンピックチャンピオンとして価値がないと思った。でも、たくさんの人が応援してくれたお陰で思い直し、力が出せた。」多くのみなさんの応援でどん底にいた自分がすくわれたと、ありがたいの気持ちで心が満たされていることが分かりますね。最後は体操の橋本大輝選手です。同じように前回オリンピックで金メダルの橋本選手。日本の岡選手が1位で橋本選手は6位でし

た。そのときの言葉です。「くやしい気持ちより、幸せすぎて涙が出ちゃう。思い通りにいかないし、それで自分自身が強くなった。」自分が夢に描く通りにはいかないもどかしさの中で、それでもチャレンジしていく素晴らしさが感じられました。この5人以外のオリンピック選手のみなさんも、もちろん悔しさも絶望感もあるかもしれないけれど充実感、心が満たされ、幸せな気持ちで、「自分は頑張った」という目に見えない金メダルをパリから持ち帰っているのだらうなと思います。大人はその充実感で心が満たされる状態をウェルビーイングといっています。

この2学期、皆さんが「自分は頑張った」と心が満たされる充実した学期になることを期待しています。そのために加納選手のように目標を持ったり、堀米選手のように頑張っている自分ってすてきだなと思えたり、早田選手や須崎選手のように1つ1つの小さなことにありがとうと感謝をしたり、橋本選手のように今はうまくいかないかもしれないけれどチャレンジすればなんとかなると挑戦したり、毎日、目に見えない金メダルを自分にも友だちにもかけることができる2学期をみんなで過ごすことを願っています。

「目に見えない金メダル 自分にも ともだちにも」

○やってみよう:目標ややりがい

○なんとかなる:チャレンジ精神

○ありのまま:自分ってすてきだな

○ありがとう:感謝の気持ち

『なぜ避難訓練をするのか、考えてみましょう』

避難訓練を行いました。今回は、震度6強の地震により校内放送施設や渡り廊下が損壊し、ガラスも破損していて、指示伝達や避難場所への移動が困難な状況を想定しました。避難経路や方法だけでなく、地震より学校施設がどういった状況になってしまうのか、避難が困難な状況の中でどういった意識や判断が必要となるのか考える貴重な機会となりました。飯田市危機管理課が実施したシェイクアウト訓練(地震から身を守る行動訓練)にも学校として参加しました。地震が発生したら・・・、緊急地震速報が流れたら・・・。1分間ほどの簡単な訓練であったかもしれませんが、過酷な状況の中で、冷静にこうした安全行動をするのは、とても難しいことになります。「なぜ避難訓練をするのか?」そこから子どもたちと考えることにより、災害への備え、対応についての意識を高めていきたいと思います。

～お知らせ・お願い・その他～

○自転車に乗る際のヘルメット着用を徹底してください。自転車事故が多発しており、ヘルメットを着用していなかったため大怪我となった事案が多くあります。ご家庭でもヘルメット着用について引き続きご指導をお願いいたします。

○主な行事等の予定

9月 参観日・学級懇談会・座光寺の子どもを語る会(13日) 運動会特別時間割(19日～10/4)
PTA 作業②(28日)

授業参観と学級懇談会、座光寺の子どもを語る会を計画しております。何かとご多用のことと存じますが、大勢の皆さまのご来校を心よりお待ちしております。

今年の座光寺の子どもを語る会では、3・5・6年生の子どもたちが「ふるさと学習」の様子を地域の方にお伝えます。地域のみなさま、どなたでも参加できますので、お誘い合わせのうえご参加ください。

10月 運動会(5日) 学校運営協議会(16日) 児童総会②(18日)